

ち いき あん ぜん つく かた 地域安全マップの作り方

ステップ1 グループを作ってみよう！

- お友達とグループを作ろう。
- 低学年の子は、お父さんやお母さんと一緒に作ろう。
- リーダー、サブリーダー、地図係、写真係、インタビュー係などの役割分担を決めよう。

ステップ2 「危険な場所」と「安全な場所」を考えよう！

ポイント1 「危険な場所」： 事件や事故などが起きそうなところ

※ 詳しくは「地域安全マップづくりのポイント」を見てね。

(例) 放置自転車や路上駐車が多いところ

木が生い茂っていて周りから見えにくい公園

落書きがあるところ

高い塀が続いていて、ガードレール等が無い道路

ゴミがたくさん捨てられていて、人が近づきたが

らない場所

ポイント2 「安全な場所」： 何かあったら助けを求められることができる（逃げ込める）ところ

(例) 子どもを守る110番の家や店（コンビニ、ガソリンスタンドなど）

学校、塾、警察署（交番・駐在所）

子どもを守る
110番の家



ステップ3 グループで街を歩いてみよう！

ポイント1 グループ内で、歩く範囲を決めよう。

※ いつも歩いている「通学路」やお友達と遊んでいる「公園」などを中心に考えてみよう。

ポイント2 必ず、お父さんやお母さん、お友達と一緒に歩いてね。

ポイント3 「危険な場所」と「安全な場所」の写真を撮ろう。

※ 朝（通学時間）や夕方（下校時間）の写真を撮って、街の景色を比べてみよう。

※ 写真を撮るときは、人の顔や家の中などを無断で撮影しないように注意しよう。

ポイント4 地域の人にインタビューをするときには、大きな声であいさつをしてから質問しよう。

ポイント5 「危ないな…」と思ったところをどんどんメモして、その「理由」を考えてみよう。

ポイント6 「カンガルーマーク」（110番の家・店）を探してみよう。

ポイント7 夢中になりすぎて、交通事故に遭わないように気をつけてね。

ステップ4 マップを作ろう！

ポイント1 実際に歩いた通学路や学校、遊び場、110番の家（店）などを地図に描いてみよう。

※ 大切なのは「危険な場所」のコメントだから、地図を細かく描く必要はないよ。

ポイント2 写真を貼ろう。どの写真を貼るか、どうやって貼るか、みんなと話し合っ決めてよう。

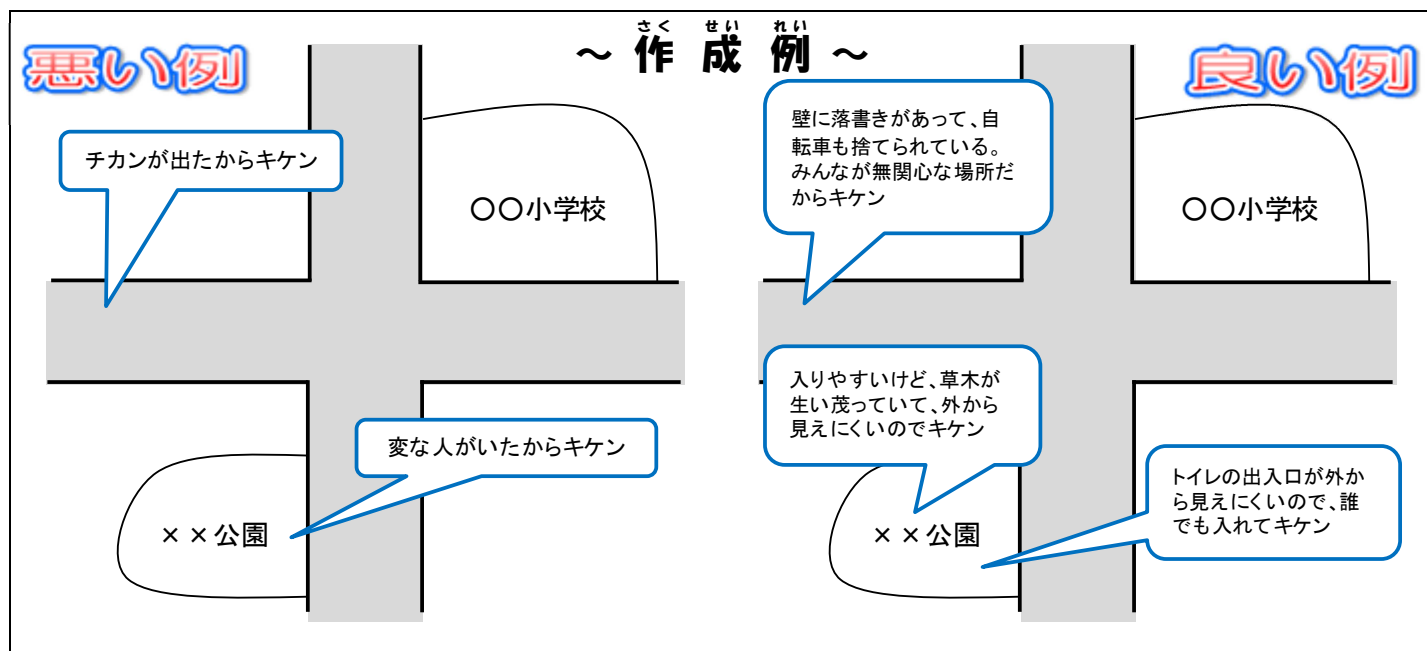
※ 車のナンバープレートや家の表札が入っている場合はマジックで塗りつぶしてね。

ポイント3 コメントを書き込もう。ここが一番大事だよ。

写真を貼った場所がどうして危険なのか、また、どうして安全なのかを考えながら書いてみよう。

※ 個人名や個人宅を書くのは控えてね。

※ 不審者が出没した所は、なぜ、そこに出没したのか考えてコメントを書いてみよう。



※ 過去に不審者が出没した場所や犯罪が発生した場所だけを書いた「不審者マップ」や「犯罪発生マップ」にならないようにしましょう！

※ 交通事故の防止や注意を呼びかけただけの「交通安全マップ」にならないようにしましょう！

ステップ5 発表会を開いてみよう！

○ マップを作って気づいた「危険な場所」と「安全な場所」について話し合ってみよう。

○ 作ってみて、工夫したところや苦労したところを発表してみよう。